



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人權と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

アドバンスケア(ACP)研修会開催

「地域におけるアドバンス ケア プランニング (ACP)」をテーマに国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部 地域医療連携室長 西川 光則先生をお招きし、アドバンス ケア プランニングの研修会を開催いたしました。

今年4月に院内にACPチームが立ち上がり、チームの一員として普及啓発活動に取り組んでまいりましたが、今回、西川先生のご講演を拝聴したことは、改めてACPについて考えさせられる貴重な機会となりました。

「ACP推進に関する提言 日本老年医学会 2019」によると「ACPは将来の医療・ケアについて、本人を人として尊重した意思決定の実現を支援するプロセスである」となっています。「本人を人として尊重」、「意思決定の実現を支援」は、医療、看護、介護、福祉といったあらゆる分野の根底にあるものですが、日々の業務の中で二の次になってしまっていることもあるのではないかと思います。

時には、一般的なことや限られた自分の経験と照らし合わせ、自分の意見や考え方を押し付けてしまいそうになりますが、それではACPとは言えません。

まだまだ、ACPを理解する入り口にも立てていない気がします。まずは、自分の家族が何を大事にしているのか、どうして欲しいと望んでいるのか、自分は何を大切に何を伝えたいのかをしっかりと考えることから始めてみたいと思います。

その上で、地域の住民の皆様へのACPの普及啓発活動を継続していきたいと思います。



医療福祉連携室 岡本 理恵



人生会議 入場無料

11月30日は、人生会議の日です。

医療センターでは、人吉市と共催でイベントを開催いたします。アドバンスケアシート作成やエンディングノートの作成相談、アドバンス ケア プランニングに関する特別講演などを予定しています。お問い合わせの上、是非ご来場ください。入場は無料です。

～もしものときのためにいまできること～

日時：令和元年11月27日(水)

場所：独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター

※人生会議相談、講演にお越しの方は、人吉市城跡公園駐車場が医療センター第2、第3駐車場をご利用ください。患者さんの受診の妨げになりますので、病院正面、第1駐車場への駐車はご遠慮ください。

午前の部

時間：10:00～11:30

場所：2階外来棟エスカレーター横

人生会議(ACP)相談 ～もしもの備え～

- ・ACPシート作成相談
- ・エンディングノート作成相談
- ・ひとよしSOSキーホルダー
- ・いのちのバトン・もしばなカード体験 etc

午後の部

時間：13:30～(受付：13:00～)

場所：3階講堂

特別講演

「考えよう!アドバンス ケア プランニング(ACP)(仮)」

国立熊本医療センター腫瘍内科部長 境 健爾 先生

お問い合わせ先：人吉医療センター 医療福祉連携室
TEL0966-22-2191(内線：240)

超音波診断装置を更新しました！！

3月末に超音波検査室に待望の新しい超音波装置がやってきました。それはGEヘルスケア社製のLOGIQ S8 XD clearです。もともと臨床での超音波検査は外来診察室のA-5、A-6で実施しており超音波診断装置のLOGIQ 7とLOGIQ S8を使っておりましたが、LOGIQ 7は老朽化で血管超音波検査のみに使用し、腹部や体表の超音波検査はほぼ1台での稼働でした。そのため検査待ちが長時間となることもありました。

今回の超音波検査装置更新により2台での腹部・体表・血管の検査実施が可能になり患者様の待ち時間は短縮し、さらに画質の向上で我々超音波検査を担当する技師のストレスも軽減されました。

また今回導入したLOGIQ S8 Xd clearには従来の検査に加えて新しくShear Wave Elastographyによる肝硬度測定が可能になりました。Shear Wave Elastographyとは、硬い物質のなかでは波の伝搬速度は速いことを原理とした硬度の測定方法です。肝硬度測定は肝硬変または肝硬変疑いの患者に3ヶ月に1回の検査が可能で、保険点数は200点です。これからも超音波検査で病変の早期発見・早期診断に貢献するべく精進したいと思います。

臨床検査部 里田 亜矢子



日本医療マネジメント学会 第14回九州・山口連合大会

9月20、21日に宮崎シーガイアコンベンションセンターにて開催された、日本医療マネジメント学会第18回九州・山口連合大会に参加してきました。

当院からは私のほかに看護師の別府さん、検査技師の田中さんが発表で参加されました。慣れない土地での発表ということで同じ病院からの参加者がいるだけでも心強かったです。

学会のメインテーマは「地域における多職種連携のあり方～



患者中心の医療・介護をめざして～」ということで、私は「双方向情報共有ツールとしての連携シートの作成」という演題で薬薬連携について発表しました。

私の発表のセッションは地域連携に

次いであったため、ソーシャルワーカーの方の参加が多く、薬剤師が普段どのような連携を行っているかについて他職種の方にも伝えようとの思いで発表を迎えました。セッションのトップバッターでの発表であり、とても緊張しましたが無事練習通りに発表を終えることができてホッとしました。

座長より発表した取り組みの内容についてお褒めの言葉をいただき、これからはしっかりと継続して取り組んでいかなければと身の引き締まる思いでした。

今後は今回発表した連携シートを使用した結果などについてまとめ、次の発表に繋げていければと思います。

ほかの参加者の発表では他施設の薬剤師が行っている取り組みや薬剤の新しい使い方など目から鱗の発表ばかりでとても勉強になりました。

今回発表した経験や、得た知識を今後の業務にも活かしてこれからの業務に取り組んでいきたいと思っています。

薬剤部 地下 隆介

人吉医療センター地域研修会開催のお知らせ 認定看護師のちょっとためになる話 II

日時：令和元年11月16日（土） 9：00から12：00まで

場所：人吉医療センター 3階講堂

対象：地域の医療機関・訪問看護ステーション・介護施設職員

内容：「当院の脳梗塞治療、早期受診の必要性」

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

「インフルエンザってなに？」

感染管理認定看護師

「利用者が救急患者になっても大丈夫！慌てず、焦らず、上手な報告」

救急看護認定看護師

「手術室からこんにちは！高齢者に多い大腿骨骨折」

手術看護認定看護師

「血糖パタンマネジメント～数字の意味するもの」

糖尿病看護認定看護師



お問い合わせ先

人吉医療センター
感染管理認定看護師 別府
0966-22-2191（代表）

世界糖尿病デー(ブルーサークル活動)イベントを今年も開催します。

国際連合では、インスリン開発した医師の生誕日である11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地での糖尿病予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進するよう呼びかけました。さらに、糖尿病キャンペーンのシンボルマーク「ブルーサークル」は国連や空を表す「青（ブルー）」と、団結を表す「輪（サークル）」を意味しており、この日に世界各地で一斉にブルーライトアップを実施しています。

以上の事から、今回当院でもこの活動に賛同し、ブルーライトアップ実施だけでなく、糖尿病予防、合併症進行予防のためのイベントを昨年に引き続き今年も行います。

是非、ご参加下さい。

日時：令和元年11月14日（木）10：00～16：00

場所：人吉医療センター本館2階フロア

内容：血糖測定コーナーと展示／理学療法士による運動コーナーとDVD視聴コーナー／医師・糖尿病認定看護師による相談コーナー／歯科医師による相談コーナー／栄養士・薬剤師による相談コーナーと展示

※どなたでも参加できます。食品サンプルなどのプレゼントもあります。

11月14日
世界糖尿病デー
in 人吉医療センター

※ブルーライトアップ期間：11月1日～11月31日



イベント開催のお知らせ
～糖尿病発症予防と進行予防～

参加費無料

日時：令和元年11月14日（木）10：00～16：00
場所：人吉医療センター本館2階フロア

内容：血糖測定コーナーと展示
理学療法士による運動コーナーとDVD視聴コーナー
医師・糖尿病認定看護師による相談コーナー
歯科医師による相談コーナー
栄養士・薬剤師による相談コーナーと展示
※どなたでも参加できます。食品サンプルなどのプレゼントもあります！

人吉医療センターBLS講習

当院では院内の看護師全員に一次救命処置BLS講習を実施しています。

救急看護認定看護師と救急委員が胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用といった一連の行為を一つ一つ丁寧に説明します。

私は去年までは研修を受ける側でしたが、今年から救急委員となり、今回から指導する側として取り組んでいます。

BLSが必要な場面に遭遇したとき、知識があっても恐怖心からためらいを感じたりするかもしれませんが、研修を受けることで、必要な技術を身体で覚えることができると思います。

実際に私も夜勤帯で急変に当たることが何度かあり、研修を受けたことで、対応することができました。

1年に一度ではありますが、救命処置の質向上を目的に今後も毎年開催していきます。



6階病棟看護師 中川 裕美子

感染対策へのご理解とご協力をお願い致します。

人吉医療センターでは、入院患者さんを感染から守るため、地域の感染レベルに合わせ面会制限を行っています。

病棟面会制限 レベル表示

感染レベル表示は、熊本県感染症発生動向調査還元情報を参考に設定しております。
大勢の方での面会や小学生以下のお子様の面会にご遠慮ください。発熱、下痢、吐気のある方の面会にご遠慮ください。

レベル	面会について	面会条件	設定
レベル0	面会制限なし	・面会前後の手洗い・手の消毒をお願いします。	・伝播するような感染症の流行が世間でみられていない。
レベル1	面会制限なし	・面会時のマスク着用と、面会前後の手洗い・手の消毒をお願いします。 ・面会時は、居室ではなくデイルームをご利用ください。	・伝播するような感染症の発生が県内で確認されている。 ・感染に関する【注意報】がでている。 ・インフルエンザの流行期（11月～翌3月）
レベル2	家族の方のみ面会できる	・面会時のマスク着用と、面会前後の手洗い・手の消毒をお願いします。	・伝播するような感染症が県内で確認され増加している。 ・感染に関する【注意報】がでている。 ・感染防止対策の強化が必要と病院が判断した。
レベル3	面会禁止	・特別な場合（入退院時、付き添い、病院からの来院指示等）には、職員の指示に従い入棟してください。	・感染対策上、面会禁止を病院が必要と判断した。

ナースステーション前カウンターや外来棟の各所に手指消毒用のジェルを設置しております。また、1F受付カウンター近くにはマスクの自動販売機を設置しております。有効にご活用いただき、患者さんの感染予防にご協力いただきますようお願い申し上げます。

済生会研修医挨拶



研修医 2 年目の定永達明と申します。済生会熊本病院から来ました。10 月から 12 月まで 3 か月お世話になります。済生会には無い小児科・産婦人科・耳鼻科・眼科などを研修させていただく予定です。病院が変わってまだシステム面で慣れておらず、ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いいたします。

熊本市出身、熊本大学卒の、生粋の熊本人です。ギリギリ 20 代です。奥さんは 30 歳です。奥さんのほうが稼いでいるので尻に敷かれています。趣味は卓球と囲碁で、インドア派です。同じ研修医の石内くんとは大学時代から部活仲間でした。人吉

でも卓球できたらなと思っています。

お酒も温泉も好きなので、研修先を人吉医療センターにさせていただきました。宿舎がおおが温泉のすぐ近くなので、温泉に入ってから通勤したりしています。お酒やごはんのおいしい店、まだよく知らないのでは是非教えてください。

ゆくゆくは心臓血管外科に進みたいと考えています。心臓に興味があります。焼き鳥を食べに行っても大抵ハツを頼みます。3 か月間短いですが、どうぞよろしくお願いいたします。

協力型臨床研修医 定永 達明

特別臨書実習(地域医療)

私は地域医療の実習として人吉医療センターに 3 週間お世話になりました。実習のある日はどの日も濃密な時間を過ごすことができ、研修医の方々と実習をしていく中で、自分が研修医として働く毎日をイメージすることもできました。

私が特に印象に残った経験は、五木村診療所にて外来を一日中こなしたことで、手技の面で腹水ドレナージと大腿動脈の採血を行ったことです。外来で先生に陪席させて頂くだけの時とは実習に臨む緊張感が異なり、患者さんの訴えに耳を傾けるといふ本来医師として自分がやることの体験は非常に貴重でした。患者さんから取るべき情報を考えながら話をしていくことと、その上で患者さんの悩みや訴えを聞いていくことの方法と大事さを改めて学びました。手技についても今回この手で経験

させて頂いたことで自分に自信が付きしました。

また、人吉での実習を進めていくうちに考えるようになったことがあり、それはその地域にどのような特色があるかを知ることの大切さです。以前までは直接医療との繋がりを感じなかったのですが、医療では患者さんとの信頼関係の構築は重要で、地域を知ることは患者さんの背景を知ることにつながることを実習の間に思い知らされました。これからは多くのことに興味を持って勉強していきたいと思っています。

最後になりますが、私にとってこの 3 週間は大変収穫あるものになりました。今回、実習をさせて頂いた先生とスタッフの方々に、厚く感謝を申し上げます。

熊本大学医学科 5 年 福田 凌平



緩和ケア研修会案内

がん対策基本法に基づき策定した「がん対策推進基本計画」では、「がんに関わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する」ことが目標とされています。

今年度も下記の通り緩和ケア研修会を開催致します。申込希望の方は当院より案内をお送り致しますのでご連絡ください。また、当院ホームページから申込み可能になります。

日 時	令和 2 年 1 月 18 日 (土) 9 時 00 分から 17 時 30 分
場 所	人吉医療センター 3F 講堂
対 象 者	がん診療連携拠点病院と連携する在宅療養支援診療所・病院で働く者、また、医師・歯科医師と共同し緩和ケアに従事するその他の医療従事者で、2 年以内に e-learning による講義の受講を修了している者
申 込 締 切	令和元年 12 月 17 日 (火)
参 加 費	無料
対 象 者	がん診療連携拠点病院と連携する在宅療養支援診療所・病院で働く者、また、医師・歯科医師と共同し緩和ケアに従事するその他の医療従事者で、2 年以内に e-learning による講義の受講を終了している者
申 込 方 法	当院ホームページ「JCHO 人吉医療センター緩和ケア研修会申込」から申し込書のダウンロード可能です。FAXにてお申込みください。
そ の 他	研修当日の昼食について、ご希望の方は 500 円程度で用意させていただきます。1 月 17 日 19:30 より懇親会を予定しています。

【お問い合わせ先】 JCHO 人吉医療センター がん相談支援センター 南 秀明・杉松 紗織
電話：0966-22-2191 (代表) FAX：0966-22-7879

地域医療サポーター養成講座開催

9月25日に第8回地域医療サポーター養成講座を開催しました。今回ははりハビリテーションセンターの米倉氏より『介護予防のための“からだ”づくり』と題し、ロコモチェックをおこなったり、日常生活で取り入れられる運動などについてお話しをしていただきました。

生活不活発病という言葉をご存知でしょうか。これは「動かない」（生活が不活発な）状態が続くことにより、心身の機能が低下して動けなくこととされています。使わない機能は衰えてしまうということは常識ですが、実はその範囲も衰え方も想像以上に大きく、筋力の低下のみならず、内臓機能の低下、頭や心の働きの低下なども引き起こします。

最近からだがきつと感じてしまうことを、「年だから」「病

気だから」と思いがちなのが実はこの生活不活発病によることも多いため、あきらめないことが大切です。

今回の講座では実際に自宅でもできる筋力トレーニングを一緒におこないました。私も試してみましたが想像していたよりも強度があり少しきつかったです。みなさんもご自身の体調や体力に合わせたトレーニングを行い、いつまでも元気なからだづくりを目指しましょう！

医療福祉連携室 小田 薫子



ひまわり会（乳がん患者会）

10月10日ひまわり会（乳がん患者会）を開催いたしました。今回は、乳がん看護認定看護師の尾方喜久子先生を講師に迎え、「ストレスの対処法について」学びました。

参加された患者さんがそれぞれ乳がんを経験して「よかったこと」「悪かったこと」を紙に記載してもらい、それについてお一人お一人お話をさせていただきました。

「病気になってよかったこと？」と思いますが、「家族のありがたさが分かった」、「人に感謝するようになった」、「身体のコ

とを気遣うようになった」など乳がんという辛い体験を経て得たことを「病気になってよかったこと」として前向きに捉えておられたのが印象的でした。

もちろん、病気になって、経済的な負担、仕事思うようにできない、家族に心配をかけたなど病気になって悪かったと思うことも多く挙げられていましたが、辛い経験を糧に人生を豊かに歩まれている患者さんのお話を伺い、スタッフが学ばせていただいた今回のひまわり会でした。

次のひまわり会は12月12日を予定しております。お時間の都合がつかれる方は是非、ご出席ください。

医療福祉連携室 岡本 理恵

連携施設 探訪

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して 地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。

今回は「グループホーム 木綿葉（ゆうば）」さん（球磨郡あさぎり町須恵覚井 828）です。

グループホーム 木綿葉（ゆうば） Vol.32

【施設の特徴・理念】

信頼・利用者・家族・傷陰・地域との信頼関係を築く
尊重・相手を思いやる
共生・お互いに来ることを協力しながら楽しく生活する
この理念の下に利用者様と共にここちよいグループホームづくりに取り組んでいます。

【対象者】

認知症があり、要支援2～要介護5の認定を受けられた方

【サービスの内容】

認知症対応型共同生活介護 9床
介護予防事業（デイサロン） 15名
訪問介護
居宅介護支援事業

有料老人ホーム JAくま 福祉の里 木綿葉（別館）

【施設の特徴・理念】

1. 家庭的な生活環境の提供：普段の生活を援助いたします。
2. 能力を活かした生活の援助：利用者の生活史を考慮し、利用者各々の役割等を作ります。
3. 尊厳ある生活を守ります：利用者のプライバシー、守秘義務を尊重します。
4. 安心した生活が送れるよう努めます：家族・医療機関・介護施設・防災機関と密に連携します。組織ボランティア等の支援により相互扶助を行います。



5. 地域とのつながりを大切にします：情報の開示と地域社会との交流を積極的に行います。

【対象者】

要介護1～要介護5の認定を受けられた方

【サービスの内容】

通所介護 入所サービス（地域密着型10床、それ以外10床）
学童クラブ

【地域の皆様に一言】

入居できる居室がJA法人全体で38床あります。さまざまな在宅サービスも実施しており、地域の皆様の要望に対応できるよう、職員も頑張っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】

TEL：0966-43-1234 FAX：0966-43-1235 担当者：林田・野尻

【訪問者の感想】

H27年12月にopenした木綿葉別館は、高齢者向けの福祉施設には珍しい学童クラブが併設されていました。私が訪問した際、同施設内のデイホールに、元気で明るい子供たち声が響きわたっており、突然の訪問者にも「こんにちわー」と笑顔で大きな声で挨拶をしてくれてとても気持ち良かったです。施設の作りは、廊下がとてもとても広く、天井が高く開放感を感じました。

新専門医制度(専攻医)登録・総合診療医募集のご案内

新専門医制度(専攻医)

令和2年4月からの総合診療専門研修の登録についてお知らせいたします。

総合診療専門研修を希望される方は、一般社団法人 日本専門医機構URLからご登録・ご応募が可能となります。確認の上、ご登録ください。

一 次 登 録		二 次 登 録	
登 録 期 間	2019年10月15日12時～2019年11月15日12時まで	登 録 期 間	2019年12月17日～2020年1月10日
面 接 な ど	2019年11月16日～2019年12月10日	面 接 な ど	2020年 1月11日～2020年1月31日
採否結果通知	2019年12月16日	採否結果通知	2020年 2月5日

専攻医登録について

2019年10月15日12時(正午)より、専攻医登録システム(<https://www.japan-senmon-i.jp/comprehensive/registration/registration2019.html>)よりログインして登録等が行えます。

※出産・育児等で研修に支障がでた女性医師等についてはプログラムやスケジュール変更等にて対応いたします。

専攻医登録システムの専攻医向けマニュアルについて

「専攻医登録システム操作マニュアル(専攻医登向け)」はhttps://www.japan-senmon-i.jp/dcms_media/other/senkoi_manual.pdfよりご確認ください。ダウンロードも可能です。

JCHO 版病院総合医(Hospitalist) 育成プログラム

JCHO では平成 29 年度から地域医療に貢献する意思を育成するため「JCHO 版病院総合医(Hospitalist) 育成プログラム」を開始しています。 <http://www.jcho.go.jp/hospitalist/>

日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム Ver.2.0

日本プライマリ・ケア連合学会認定 阿蘇天草球磨人吉プログラム

http://www.primary-care.or.jp/nintei_pg/pgm_list02_02/list02_02_kyusyu.html

定員：1年あたり1名(×研修期間年数=総定員3名) プログラムの期間：3年間

JCHO 人吉医療センターへ応募をご検討中の方は、ぜひ統括責任者(総合診療科部長)あるいは担当者(総務企画課)にご連絡をお願いします。研修内容や条件等についてご理解を深めていただくために事前にご見学いただくことも可能です。

見学申込書(Word) <https://hitoyoshi.jcho.go.jp/wp-content/uploads/2016/06/kengaku-kokikenshu.doc>

〒868-8555 熊本県人吉市老神町 35 人吉医療センター 総合診療研修係

☎0966-22-2191(代表) ☐main@hitoyoshi.jcho.go.jp

東間小社会科見学

本日は近隣小学校の社会科見学がありました。

「どれくらいの方が入院していますか」

「お医者さん、看護師さん以外にはどんな人が働いていますか」

「働いている人は何人ですか」

「ドクターヘリはきますか」

たくさんさんの質問があり、返答すると予想していた答えと違ったのか驚きの声があがっていました。

お天気も良く、ヘリポートを案内すると学校や知っている建物がないか一生懸命探している子供たちでした。

素直な子ども達と触れ合い、これからも地域の皆さんが親しみやすい病院でありたいと改めて思いました。

総務企画課 花牟禮 由美



相良中インターンシップ

10月2日相良中学校より職場体験に7名の生徒さんが来院されました。

担当者の話を聞く生徒さんの目は、キラキラと輝いており職場体験を受け入れた私たちがエネルギーをいただきました。

生徒さんから職場体験の感想をいただきましたので、一部掲載させていただきます。

私が2日間の職場体験で時に印象に残ったことは看護体験です。自分の夢でもあるのでとても貴重な体験となりました。患者さんと接するのはとても難しく緊張したけれど、看護師の仕事を実際にすることでどのように接すればいいかなど学ぶことがたくさんありました。2日間の体験を将来、生かしたいです。また、様々な職種を知り、初めて聞いたものもあったので、もっとたくさんの医療系の仕事を知りたいと思いました。

(3年 女子)

10月の勉強会報告

10月16日

大腸Expert Meeting in 人吉 人吉球磨薬剤師会研修会

「大腸癌の最新治療について」

熊本大学大学院 生命科学部

消化器外科学 教授 馬場 秀夫先生